新京日日新聞
夕刊
六月八日（金）

本紙 一部五錢 一ヶ月一圓
定價 郵税 一ヶ月十五錢
廣告料 普通一行 一圓三十錢 特別同 二圓五十錢
發行所 新京日日新聞社 新京永樂町四ノ一 電話三二二五・三三〇〇
發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 谷啓二郎

藏相辭するも財政方針は變るまい

＝銀行家方面觀測＝

【東京國通】一般財界の動きに關し非常な注目を拂ひ殊に高橋藏相の辭職を必至と觀てその後任藏相に

＝何人＝が新任さるべきやに就き多大の關心を以て觀られて居るが、政變に關し有力筋銀行家の意見を綜合するに大體次の如く政界財界の前途に對し、一應の樂觀說を向けて居る模樣である、即ち現下政界の歸趨、況や後繼內閣の首班が誰であらうか等のことに就ては全く豫想を許さぬ譯で、從つて後任藏相問題を云々するなど意味のないことであるが、たとへ高橋藏相が辭任しても現下我國の財政金融狀態及び國際政治、經濟情勢に即して考へれば

＝從來＝と一變して政策を施すと云ふが如き所謂ファッショ內閣の出現を別として考へられぬ事である即ち何人が藏相となつても來るべき國際政治並に經濟の難局を前にして俄かに現下の財政政策を放棄して財政の縮少、均衡のみに努めると言ふ譯にも行かないし、それは又國內財界の大變動を惹起せずには濟まないことであるから大體に於て現在の財政方針を踏襲するより外にないであらう又現在の公債政策及び金利政策もそのまゝ維持するより外あるまい、唯この間增稅を斷行して幾分とも財政の均衡に資すると言ふ事はあるがこれも根本方策としては既定の事實でその時期、方法、程度さへ宜敷しきを得ば憂へるべき結果を伴ふものではない唯高橋藏相が考へて居る時より早くその

＝時期＝が來ると云ふ程度の變化はあつても別にこれは問題になるまい

總督、陸相の

昨日の懇談內容

【東京國通】宇垣朝鮮總督は七日午後二時十五分林陸相を訪問し

一、朝鮮の現狀では現在の朝鮮軍のみでは警備に手薄を感ずる故兵力增加の要あり嘗て計畫された三個師團制度（現在は二個師團）を適當と信ず

一、朝鮮の國防資源着目の要あり、特に羅南の鐵鑛は何億噸の埋藏量あり、この外にも開發の目標多々あり

一、鮮人の滿洲移民に反對あるが、總督府は指導機關を設け移民せんとして居り、御諒解と御配慮を乞ふ

と言ひ林陸相はこれに對し

一、朝鮮警備增加は必要と認めるも、滿洲の警備が手薄の現狀と費用も伴ふ故即答出來ぬ

一、國防資源開發は重要であるがすぐの實行は難しからう

一、滿洲集團移民には能ふだけ助力を惜まない

と政局には一言も觸れず五十五分辭去、續いて宇垣總督は午後三時より四時迄山本內相を訪問鮮人の滿洲移民問題等を懇談した

五月中に於る新京卸賣物價指數

＝中央銀行調査＝

滿洲國中央銀行の調査せる五月中新京卸賣物價指數左の如くである

△國幣建　四月微騰の後を承け更に前月に比べ三分四厘の騰貴を示したるも前年同月に比すれば尙九分三厘の低落である、全品目五十品中騰貴三十四品、低落九品保合七品、之を類別に見れば食料及び嗜好品類の下落を除き齊しく騰勢に傾いた

△金圓建　國幣建と逆行して引續き落勢を示し前月比べ四分七厘、前年同月比六分一厘の低落、全品目五十品中騰貴十七品、低落二十六品、保合七品、これを類別に見れば穀物並に金物兩類の品騰以外は齊しく軟勢にあるを見る

類別指數並に總指數次の如し

類別		穀物	食料及嗜好品	紡織品	金物	建築材料	燃料	雜品	總平均
國幣建	五月	七四、二	九五、一	九六、九	九一、七	九二、八	八二、八	一一〇、六	九二、九
	前月	六五、四	九六、〇	九五、一	八〇、四	九〇、一	八二、〇	一〇七、四	八八、九
	前年同月	九四、六	九九、二	一〇三、七	九七、九	一〇四、三	九四、九	一一五、五	一〇一、三
金圓建	五月	一〇〇、五	一二一、六	一三六、八	一三二、八	一二二、七	一二四、七	一五七、九	一二六、三
	前月	九六、八	一四一、八	一四一、九	一三〇、六	一二四、三	一二八、六	一六六、二	一三〇、六
	前年同月	一三〇、〇	一三三、四	一三七、九	一三一、二	一三九、五	一三三、三	一五四、三	一三六、七

滿洲國の軍事行政機構

＝各省警備軍の近況＝

康德皇帝の御統帥下にある約十萬の滿洲國陸海軍は、陸海軍の軍事行政機關たる軍政部の統率を受け一糸亂れずその精鋭ぶりを發揮しつゝあるが此の鐵軍を動かす軍首腦部を榮ある觀兵式の今日、もう一度檢討して見やう

軍政部

軍政部大臣は人も知る參議府議長兼任の陸軍上將張景惠氏その補佐役として滿洲國の西鄉と迄云はれる實官力行の人格者于靜修中將が次長に座つて居る、氏は又首都警備司令・中央陸軍訓練處長、馬政局長をも兼任し、本日の觀兵式には晴れの諸兵指揮官として一千の精鋭を叱咤し無事重任を果した人だ、此のほか參謀司長郭恩麟中將、軍需司長に張益三少將がある、この充實したスタッフに更に加へて世界に誇る軍國日本から現役將校を顧問に招聘し國軍の指導改善に努めて居るのも大いに心強い感を抱かせる、最高顧問には全般的統轄指導の任に當る陸少將多田駿氏を、その下に云はば參謀長格の佐々木到一大佐、參謀格の騎兵少佐佐久間亮三氏、步兵少佐石野芳男氏、同岡田菊三郎氏、副官格の步兵少佐志渡信彦氏、步兵大尉芳賀豐次郎氏、經理關係には三等主計正井上儀作氏、同住谷悌氏、海軍顧問として海軍大佐志摩清英氏、馬政局顧問騎兵大佐濱田賜兒氏騎兵少佐加藤源之助氏、法務官鈴木重義氏が夫々專門的に指導して居る更に各省警備司令部を見るに

奉天省警備司令部

司令官于芷山上將の下に參謀長代理呂衡上校部附滿良少將がある、全省を九區に分けて廖弼宸、王殿忠、彭金山の三中將、王翰臣、董國華、李壽山、王子安の各少將が夫々警備の任に當つてゐる

吉林省警備司令部

司令官吉興上將の統率下に參謀長吳元敏少將部附王週甲少將がある、省內を六地區に分け刑子廉、李文炳、李振聲三中將、劉寬玉、王樹棠、陳德才、金恩奎、白文淸、郭寶山、李流久、崔文林の各少將がソ滿東部國境の護りとして控へてゐる

黑龍江省警備司令部

馬占山討伐に勇名を馳せた張文鑄中將を司令官に、參謀長李靜少將部附維權少將を置きソ聯北部、西部の兩國境の護りに余全勝中將以下楊鐵凱、王樹棠、張耀廷、賈金銘、劉維漢、馮廣友の各少將が當つて萬全を期して居る

熱河省警備司令部

司令官張海鵬上將は侍從武官長の顯職を兼ね、皇帝の御側近に奉仕し、去る三月の御大典並に今回の御名代宮殿下を御迎へ申上げるに當り、終始皇帝の御側に侍り、大任を果した人、參謀長李盛唐少將部附栾景淸少將を置き省內四地區に王永淸、張俊哲、鵬飛、傳銘勳の四少將が、華北、チャハルの重要關門をしつかりと握つてゐる

興安各分省警備司令部

各分省とも「鄉土人が鄉土の警備に當る」といふ建前から變則乍らも一部に徵兵制を布いて蒙古人による警備が施されてゐる、東、西、南、北の四分省に夫々司令部を置き綽羅巴圖爾上校、李守信少將、巴特瑪拉布坦少將、烏爾金上校がある

白耳義內閣 遂に總辭職

【ブラッセル六日發國通】ベルギーのブロックヒル內閣は議會に於て政府提出の二法案が否決された爲め、六日遂に總辭職を決行した、同內閣は一九三二年十二月七日成立、昨年末一時瓦解の危機に瀕したが、僅かに倒壞を免れ今日まで持續してゐたものである

アメリカの酷暑旱魃 廿五年來の不作か

【ワシントン六日發國通】アメリカ穀物產地を襲へる稀有の酷暑と旱魃は少々の降雨では到底緩和されさうにも無い程猛烈を極め、各方面も多大の懸念を釀してゐるが、本日農務省氣象通報局は最近の狀態に關し左の如く發表した

旱魃狀態は次第に東方及び西東に向つて擴大しつゝあり、最近の降雨は多數の地方に若干蘇生の思ひを與へたかに見えるが、これはホンの一時的のもので、全體として見る時は旱魃は殆んど緩和されず、良い方に向ふ兆は未だ何等見る可き事を得ない

一方農務省當局も此事態が永引けばアメリカ食料品供給上に甚大なる影響ある可しと言つて居り、食料饑饉といふやうな重大危機は無いにしても小麥收穫は一九三三年を除けば過去廿五年來の不作となりさうな形勢にある

米海相第一次二十四隻 建造案を承認

【ワシントン六日發國通】スワンソン海相は曩に大統領の裁可を經て第一次二十四隻建造案を承認した

明月溝にも日本人民會

【龍井國通】延吉縣崇禮鄉明月溝は滿洲事變以前迄は甕壁習子と稱して一寒村に過ぎなかつたが、昭和七年四月東北邊防軍第三營王德林叛亂し、救國軍に加擔せる爲朝鮮軍の出動以來著しく治安確立し且つ京圖線開通に伴ひ奧地資源開拓を目指して內地朝鮮方面からの來往者相次ぎ、大哈爾巴嶺山脈連峰の森林開拓事業を開始したので、一寒村甕壁習子は一躍して木材の集散都市として間島一の活氣を呈し居住內地人も事變前僅かに二名だつたものが現在七十二戸百七十九人となり、之が統一を計る爲客年二月以來內地人民會を設立すべく領事館に申請中のところ去る五月十八日認可せられたので廿五日より正式に事務を開始してゐる

大同殖産正式創立 七日總會を開く

近く第二回調査隊現地に出發

【東京國通】既報大同殖産株式會社創立總會は七日朝十時丸の內鐵道協會に於て開かれ豫定通りに創立委員長國澤新兵衞氏より十項目に亘る創立事項を報告、次いで定款の承認を求め取締役、監査役及代表取締役を選任したが社長に國澤新兵衞氏、常務取締役に立花良介氏橋本善作氏（以上代表取締）に決定し、最後に監査役の報告あり十一時過散會して愈々昨年末在吉林奧地に活躍、創立準備を急ぎつゝあつた大同殖産も玆に正式に創立され來る二十日頃第二回學術實地踏査隊が渡滿し、奧地に向ふことゝなつた

立花專務語る

【東京國通】大同殖産創立總會散會後立花專務語る

各位の熱誠な御援助と創立委員の絕大なる努力とで今日無事創立總會を完了し、大同殖産も目出度く誕生したことは欣快に堪へません當社事業は既に御承知の通り滿洲國內で許可された唯一の民間採金事業を主として居り、之れが實施には社長國澤工學博士自ら指導に當り、地質學の權威門倉帝大講師に依囑し吉林省の金鑛第二回學術實地踏査を行ふ事となり各專門家一行三十名は約三ヶ月の豫定で來る二十日頃當地發渡滿決定しました、尙該事業實施班警備のため岡少將指揮の警備隊一中隊隨伴し調査團保護の任に當る事となつて居ります

新京旅館下宿戸數統計

新京旅館業戸數統計

國籍別	六年度	七年度	八年度
內地人	一一	三一	四四
朝鮮人	三	五	四
滿洲人	一六	二一	二三
外國人	一	二	二
計	三一	五九	七三

新京下宿業戸數統計

國籍別	六年度	七年度	八年度
內地人	—	二五	三三
朝鮮人	—	—	—
滿洲人	二	一〇	五
外國人	—	—	—
計	二	三五	三八

債券利廻り

勸銀一日調査

【東京國通】勸銀六月一日調査、債券利廻りは四、九六六で前月に比し二毛二朱の低下である

五月中の外地輸出入額

【東京國通】五月中の外地總輸出八百萬八千百五十二圓總輸入額千百四十八萬五千圓前年同期より總輸出三百十七萬九千圓、總輸入額二百七萬の增加である

日滿悲曲 生命線を行く

（上演上映）

國友雄吉
（荒川芳三郎畫）

（百九十二）

滿洲障りの鐵腕

千原大尉は、衝立つたまゝ、二人を睨みつけて居る。

「君たち、仲一君に用があるなら、仲一君の居る時に來ればいゝだらう。無斷で他人の家へ上り込むなんぞは、どうも穩かでないね。殊に女を相手にして威張るなんて、男らしくないぢやないか」

二人は、さつきから、もう逃げ腰になつて居るのだ。それで居ながら、しかし內海は、まだ、虚勢が張つてみたかつた。

「あなたは、いつたい、どなたですか？」

その減らず口が、ますます大尉を不快にさせた。

「餘計な質問だ。我輩に名乘る必要があれば、先づ君たちの名を聞くが、僕には全然その必要がない、僕は只、此處の婦人に頼まれたから、君たちを追つ拂へば、それで宜いんだ」

「追ッ拂ふ――」と、口眞似をして內海は、ちよつと險しい眼をした。

「でも、僕たちは、氏家さんに用があるんです。だから、只單に、あなたの命令では――」

「歸らん、といふのか？」

大尉は、氣色ばんだ。

內海も、もう、止むに、止まれなくなつた。

「さうです！ 歸らない！」と、ハッキリ、やつた。

大尉は、ピリッと眉を動かした。

「さうか。それぢや止むを得ん。好まんことだが、歸るやうにして、歸つてもらふんだね」

「歸るやうに、といつて、あなたは、腕力に訴へやうとするんですか」

內海の語氣も急迫した。

「理窟のわからん奴には、それを用ひるのも亦止むを得んだらう」

「それは、亂暴です」

「だから、溫和しく歸れ、といふんだ。大體きさまたち、亂暴呼ばりをする資格が、何處にある！」

それつきりで息づまるやうな、沈默が來た。

勝代は臺所の方で、固く胸を押へ乍ら、ヂッと息を詰めてゐた。すると突然、座敷の沈默が破れた。

「やつゝけろ！」

「馬鹿！」

火の出るやうな叫びが起つた。勝代は全身を冷たくして怖れた。激しい格鬪の響きが床を傳はつて來た。

勝代は、指が喰ひ入るほど、强く柱につかまつて、大尉の勝利を一心に祈つた。

座敷では、破れかぶれとなつた二人が、大尉を目がけ、猛然とつかみかゝつて行つた。

だが、滿洲で練り上げて來た大尉の鐵腕と、彼等のヘロヘロ腕力とは、遙かに、段違ひであつた。

內海は先づ、ドンと胸を一つ突かれて、ギャッといつて、後の壁際まで行つて、どたりと、倒れた。とたんに、上の額がはづれて御丁寧にも、彼のあたまの上へ落ちて來た。

他の一人は、大尉の膝下に押へつけられ、蟇のやうになつて、ギュウギュウ言つてゐる。

「馬鹿だねえ、おまへたちは、初めから、溫和しく歸れと勸めた、僕の厚意が、これでよくわかつたらう。つまり、痛い目をみたいだけが、君たちの損だ。しかし、軍人に向つて、戰ひを挑んで來るだけは、なかなか勇壯だ。勇壯は甚だ結構だが、しかし、チト弱すぎるね、それだけは、聊か物足りないね。はツはツはゝゝ」

大尉は、天井目がけて、哄笑を吹きつけた。

二人は、見るも氣の毒なほど、小さくなつて居る。

勝代は、漸く胸を撫で下した。大尉に感謝したい氣持が、自然に微笑となつて、面に浮んで來た。

うれし涙で、眼が光つて居る。

やがて、猫を懼ふ猫のやうに、小さくなつてコソコソと內海等は逃げて行つた。

御名代宮殿下奉迎 晴れの觀兵式

康德帝と御同列 滿洲國軍を御閲兵

光榮に感激する諸員肅然 けふ中央通の偉觀

青葉かをるけふ八日、秩父御名代宮殿下奉迎、晴れの大觀兵式は午前九時三十五分宮殿下式場御着を待つて直ちに開始された、この日式場の中央通一帶は塵一つなくすつかり掃き淨められ、けふの光榮に感激する參加部隊將士を始め一般拜觀者ら

=定刻=一時間前には式場兩側にずつと列を整へ靜かに開始を待つ、この日の參加部隊は禁衛步兵團、新京地區警備吉林步兵第四旅第十三團、騎兵第一旅第一、第二、第三團等在京各部隊凡そ一千名、徒步編成で新京停車場から西公園前に至る道路東側に整列

やがて康德皇帝には御正裝に日本 天皇陛下より御贈呈の大勳位菊花大授章を御佩用自動車鹵簿にて午前九時二十五分宮廷府御出門、同三十五分新京停車場前式場着御、この時軍樂隊は滿洲國歌を

=奏し=參加部隊は一齊に喇叭を吹奏して敬禮を行ひ、嚴肅の氣漲ぎる裡に程なく吾等の宮様、秩父御名代宮殿下には颯爽たる御正裝を召させ給ひ同じく御召自動車で、午前九時三十五分御旅館御發、同四十分式場御着、軍樂隊の君ケ代吹奏裡に諸隊および參列諸員の最敬禮を受けさせられた、仰げば殿下には御正裝姿も御凛々しくいとも御滿悦の御模樣に拜せられ一々擧手の禮を賜ふかくて 皇帝陛下の入らせらる幄舍に入らせらる、やがて

=殿下=と 皇帝には御同列にて御座の上に立たせ給へば、晴れの諸兵指揮官王靜修中將は御前に進み、恭しく參加人員を報告し奉り、終つて號令一下皇帝と盟邦日本の武の宮との御親閲の下に歷史的觀兵式は開始されたのである、皇帝陛下には秩父宮殿下と自動車に御同乘、陽光に映ゆる皇帝旗を先頭に、金侍從武官御先導にて、ゆるやかに御車を進ませ給へば、植田中將、山下大佐以下隨員並に王靜修指揮官張侍從武官長等馬を並べて近く扈從し、更に關東軍司令官菱刈大將を始め、西尾關東軍參謀長、張軍政部大臣等將星御隨行申上ぐ、斯くて禁衛步兵團より順次騎兵第一旅へと肅然と

=整列=する各部隊の御閲兵を終へさせ給へる殿下並に皇帝には御機嫌麗はしく新京神社前にて御車より降り立ち給ひ、しつらへられた參道入口の御座所に御揃ひで御起立遊ばさるれば王靜修指揮官は全軍に號令、直ちに分列隊形を整へ、軍樂隊の奏する莊重なる軍樂の音につれて勇壯なる觀兵式分列行進は開始された、御座所前に立てられた金色の蘭花まぶしき皇帝旗は、折からの瑞氣をこめた陽光に燦然たる光を放つ、先づ禁衛步兵團を先頭に、新京地區警備吉林步兵第四旅第十三團の精鋭一千の國軍は、軍靴の音高らかに大地をゆすり、銃劍は閃く、かくて殿下並に皇帝には、各隊の敬禮を受けさせ給ひ、こゝに

=日滿=兩帝國々交上意義深き盛儀は滯りなく終了、時正に十時廿分再び起る國歌吹奏裡に秩父宮殿下には諸隊及參列諸員奉送裡に御機嫌殊の外うるはしく御旅館に還御あらせられ、續いて皇帝陛下にも還幸遊ばされた

=觀兵式の盛觀= 上は步兵隊の分列行進下御親閲の御名代宮殿下(左)と康德皇帝(右)

滿洲國日系官吏に 特に御賜謁

けふ商業學校講堂で

官吏賜謁

御入京第三日を迎へさせられた秩父御名代宮殿下には八日午前十一時より新京商業學校講堂に於て、畏くも滿洲國政府に奉職する日本人官吏に拜謁を賜る旨御沙汰あり、薦任官並に同待遇以上の官吏は恐懼感激して定刻前より商業學校講堂に整列、殿下の御到着を御待申上ぐ、殿下には林首席隨員以下隨員一行を隨へさせられ定刻御乘用自動車にて御旅館を御出發、日滿官憲の嚴戒申上ぐる中を八島通りより西公園前を御通過間も無く日滿兩國旗はためく同校正門に御到着、菱刈軍司令官並に宇佐美顧問、遠藤總務廳長等特任官及び吉澤總領事等御出迎へ申上ぐる中を東新京商業學校長の御案內にて一旦御休所に入御、特任官及び總領事に謁を賜つた後、菱刈軍司令官の御先導にて式場に成らせられ、日本人官吏の肅列敬禮せる間を御通過、正面壇上に上らせられ、一同の最敬禮を受けさせ給ふ、續いて遠藤總務廳長は恭々しく數步前進して言上文を奉讀すれば、殿下には一同に有難くも御會釋を賜ひ諸員最敬禮の裡を御退場

商業學校で 一般奉拜

校庭一般奉拜場に向はせらる、此日定刻前風薫る同校々庭には荒木地方事務所長に率ゐらるゝ新京滿鐵附屬地地方委員、新京滿鐵附屬地區長、新京居留民會評議員等各公職者團百四十八名を始め、在鄉軍人會三百五十名、新京各學校生徒約五千名、少年團八十名、其他社會公共團体合計六千名は御座所より約廿米を距てゝ整列、中央に吉澤總領事の御先導で、殿下には校庭正面の御座所に成らせらる、總指揮たる新京商業學校配屬將校山內少佐の號令に依り一同最敬禮を行へば、商業學校生徒が力の限り吹き鳴らすラッパは高く低く大空に響き渡る中に殿下には御嚴かに敬禮を賜ふ、續いて一同奉迎歌を齊唱し、終つて更に最敬禮の裡を殿下には北門より御座所前に進める御召車に御乘車、南門より一路御旅館に向けて御退出あらせらる、時に午前十一時四十分光榮の奉拜を辱ふせる人々いづれも感激裡に肅然として殿下御一行の鹵簿を御奉送申上げた

衛戍病院御成り

光榮に咽ぶ白衣の勇士達

秩父御名代宮殿下には八日午後三時卅分林男以下隨員一同及び菱刈關東軍司令官、梶井同軍醫部長等を隨へさせ給ひ新京衛戍病院に成らせらる、これより先同病院にありては收容中の傷病患者百餘名は畏くも殿下御成りの報に

=恐懼=おくところを知らず、一同清潔な純白の病衣に着換へ、寢臺の上に靜座し殿下の御着を御待ち申上ぐ、定刻、殿下には御召自動車にて御旅館を御發病院に向はせられ、院長小宮山軍醫正以下士官一同の奉迎裡に會議室に入らせられ、同院長の言上する患者狀況を御聽取遊ばされたる後、同院長の御案內にて內科、外科の御順序にて親しく傷病患者を御慰問あらせらる、殿下の御靴音病室近く迫れば、橫臥差支へなしとの有難き御諚に浴せる重症患者も思はずむつくと起直り容儀を正す、殿下には御靜かに寢臺前に步を運ばせ給ひ、寢臺上の病床日誌を御一瞥あらせられたる後御仁慈に輝く御眸を各患者の面に注がせ給へば一同此の限りなき

=光榮=に深く頭を垂れて上げ得もせず只感激にむせひ泣く、かくて殿下には院長を通じ傷病患者一同に優渥なる御言葉を賜り、同四時十分諸員奉送裡に御還遊ばされた

その日く

□ 滿洲國軍けふ秩父御名代宮殿下の御親閲を受く、兵の榮譽之に過ぎたるものあるなし

□ 滿洲國日系官吏御賜謁の光榮に浴す、自今夢、日本人として愧づべき行爲あるべからず

□ 殿下、新京神社へお成りに臨み、特に高齡者に御會釋、滿洲の涯生を、聖代に永らへたるの喜び……

□ 政局更に々々緊迫を報ず、平沼內閣の出現をむづがゆい氣持ちで待つてゐる御仁もある

□ 日蘭會商いよいよけふ開く切に長岡代表の健鬪を祈る

素質向上せる 滿洲國各軍隊

御名代宮にも深く御關心 國家觀念も充分

秩父御名代宮殿下御滯京の第三日、滿洲國皇帝陛下と御同列の下に擧行さるる今日の滿洲國軍隊觀兵式こそは滿洲國陸軍の光榮であり、又その陸軍史上に燦たる光彩を添へるものであらねばならぬ

抑も滿洲に於ける軍隊は舊軍閥政權時代には現在の支那軍隊と同樣、政權慾に驅られた私鬪の爲の軍隊に外ならず、國民の利益を最高の機構で擁護する國防を目的とする國家の軍隊ではなかつたが、一度舊軍閥潰えて滿洲國成るや彼等滿洲國獨立に參加せる陸軍に依つて滿洲國陸海軍の結成を見、舊來の面目は一新し陸には精鋭約十萬の鐵軍を、海には精鋭を誇る江防艦隊を有し「陛下の軍隊」たるの名譽を負ふて國家國民守護の大なる使命に任じてゐる、滿洲國陸軍は日本の近衛步兵師團に當る禁衛步兵團を始め、奉天、吉林、黑龍江、熱河四省に配備の省警備軍及び興安東西南北四分省に配備の分省警備隊並に靖安軍、新京警備部隊から成り總兵約十萬、これ等軍隊は建國以來反滿抗日分子の討伐に轉戰又轉戰、國礎を今日の安きに置いた原動力で、全滿國民の感謝と信頼を愈々高めつゝあるが、國內反抗分子掃滅も既に大段落を告げたので、愈々國軍の精華を內外に發揮すべく訓練に、裝備に全努力が傾倒されてゐる

×

滿洲國海軍は本據をハルビンに置き、尹江防艦隊司令官指揮の下に江上の護りとして松花江、黑龍江の防備についてゐる

海軍の事は暫く措いて其後に於ける陸軍の改善狀況を一瞥すると先づ著しく目につくのは官兵の素質向上である、建國當初に於いては軍狀錯綜し相當有力部隊にして反滿抗日に走るもの次々に現はれその動搖振りは掩ふべくもない事實であつたが、その間盟邦日本軍の犧牲を顧みぬ絕大なる支援誘導あり、馬占山蘇炳文一味の逃亡より李杜丁超等の潰滅にかけて大集團の反滿分子は漸次影をひそめ熱河戰を經るに及んでその國軍たるの自覺は益々鞏固を加へ來り、他面給與方面の改善と相俟つて帝制實施後の今日では既に全く押しも押されもせぬ名實兼備立派な國軍となつてゐる

次に特筆すべきは日本及日本軍に對する理解と信頼の度が愈々深きを加へて來たことであらう、建國當初に於ては彼等滿洲國官兵の日本軍觀は唯一途に强いもの恐いものとしてゐたに過なかつたが其の上層級は上層級で既に一巡り日本視察に赴き土着の部隊は又土着の部隊で直接同僚若くは[illegible]日本人將兵多數[illegible]關東軍の分散配置多くし、今は日本軍も滿洲國軍もない渾然融和し完全に共同作戰に當つてゐる、滿洲國軍の素質向上と國家觀念の涵養上今後益々重要視さるべきものに奉天の中央陸軍訓練處がある、これは謂はば陸軍士官學校で步騎砲兵から輜理方面までの全面的中堅將校養成所であるが、秩父御名代宮殿下に於かせられても此の訓練處の內容と運用に關しては殊の外御關心を持たせられ、今次御滯奉の前後に於て種々御下問あらせらるゝやに拜聞する、此外滿洲國軍に關しては記すべき多くのものがあるが、他の機會に讓るとして最後に附記して置きたいのは、蒙古軍の存在と目下具體化しつゝある該軍の正式訓練に關することである、現在の蒙古軍は興安各省に分散し數に於いて素質に於いて取り立てゝいふ程の實力は無いが、現に彼等蒙古人青少年の間に勃興しつゝある國家的觀念と向上心乃至は四圍の狀勢は到底何時までも現在のまゝの軍隊存在はこれを許さず、就中幹部將校の養成は目前の急務とされ近く具體化する運びに至つてゐると確聞する

康德帝御親臨

大使主催の午餐會

菱刈大使主催の午餐會は秩父御名代宮殿下の御成、滿洲國皇帝の親臨を仰ぎ八日午後一時より朝日通大使官邸階下食堂にていとも

=盛大=に執り行はれた、この日皇帝には燦然たる御正裝を召され張侍從武官長、工藤侍衛官等を隨へさせられ御鹵簿肅々として零時三十五分大使官邸に御着、玄關車寄にて御下車あらせられ玄關階段下に御出迎へ申し上ぐる菱刈大使に御握手を賜はり大使御先導にて玄關階段を進ませらる、宮殿下には午前の觀兵式、官吏御賜謁、在留民一般奉拜等に御成りにも拘らず些かの御疲勞の御色だになく陸軍通常禮裝を召させ林首席隨員、植田、津田陸海軍隨員並に桑島隨員、谷參事官を從へさせられ階段上にて御出迎へ遊ばされ、皇帝と親しく御握手を交せらるゝ、殿下並に陛下には大使の御誘導にて前日皇帝御答訪の御砌、御睦じく御會談あらせられた階下貴賓室に入らせられ、菱刈大使、沈宮內府大臣、林首席隨員御陪席林出書記官の御通譯にて少時御懇談あらせられた、これより先御陪食の

=光榮=に浴した西尾參謀長、岡村參謀副長、鄭總理、各參議、各部大臣、遠藤總務廳長等それぞれ軍服、大禮服、燕尾服、滿服禮裝に威儀を正し、皇帝御着前既に大應接室に參へ肅然として定刻を御待ち奉る、やがて御歡談を終へさせられた殿下および陛下には隣接大應接室に控へて起立する諸員に謁を賜はり、次で大使の御誘導にて鈴蘭の香床しく漂ふ階下大食堂に入らせられ御着席、次で諸員もそれぞれ設けの席に就き午後一時愈よ開宴、宴はいとも御なごやかに進み終て宴終れば殿下並に陛下には大應接室にて諸員と少時御歡談の後應接室に入らせられ菱刈大使、沈宮內大臣、林首席隨員御陪席申上げ林出書記官の通譯にて暫時御心おきなく御物語り遊ばされ

=次で=皇帝御立遊ばさるれば殿下には首席隨員以下を隨へさせられ玄關階段上迄御見送り遊ばされ大使以下諸員奉送裡に皇帝には御機嫌麗はしく午後三時二十分還御遊ばされた

御名代宮の 御答辭

七日夕の滿洲國々務總理大臣主催晩餐會の節、秩父御名代宮殿下には鄭總理大臣の述べたる御挨拶に對し、次の御答辭を述べさせられた

今回余は 天皇陛下の命を受け貴國帝制實施祝賀の爲め貴國を訪問するや貴國朝野の熱誠なる歡迎を受け今夕又國務總理大臣閣下主催の饗宴に接し各方面の名士諸君と會談の機會を得たるは余の衷心より懌ひとする所なり、今や審に國都建日に殷んにして帝國の發展極めて速かなるを見るは寔に慶賀に堪えず、茲に盃を擧げ貴國皇帝陛下の御健康と貴國々民の隆盛とを祈る

奉拜の光榮に浴した 高齡者の氏名

昨日奉拜の光榮に浴した高齡者氏名及年齡は左の如くである

附屬地內居住者

青山クイ 八六 長濱ジュン 八三
瀧 みわ 八〇 川戸啓四郎 八一
山領ヤイ 九一 今井ケエ 九五
金池滕七 九七 平井トミ 九七
清水トラ 八〇 三谷トメ 八〇
谷口チヨ 七七 齋藤トヨ 七七
多田彥太郎 七七 渡邊庄六 七六
藤岡トナ 七五 金池ゼン 七四
白石米吉 七四 今井與八郎 七三
藤森茂一郎 七三 片山キク 七二
今村アサ 七三 木谷三二 七二
藤井太吉 七二 加藤篤次郎 七二
九松きせ 七一 藤屋タキ 七一
木下ミヨ 七〇 津島シツ 七〇
水野えい 七〇 中原トモ 七〇
崎田知新 七〇

附屬地外居住者

高橋ヽメ 八〇 小林チエ 八〇
藤井宇一 七六 品川ムチ 七六
川下イサ 七五 米村茂作 七五
本橋タカ 七五 原田モツ 七五
溝口コマ 七一 天池ソト 七〇
日高カク 七〇 檜原岩雄 七〇
藤山熊吉 七〇

人事往來

▲山內靜夫氏(電々會社總裁)七日午前七分齎大連から
▲三毛少將(第一〇〇〇部隊長)七日午前九時發奉天へ
▲土肥原少將(奉天特務機關長)八日午前七時來京奉天から

團体

▲文敎部敎員講習生八十三名八日午後一時五十五分歸京
▲大阪東商業學生百二十名八日午後一時五十五分來京太陽ホテル投宿九日午前六時二十分發南行
▲富山縣敎育團十八名八日午前七時來京白石旅館投宿十日午後五時發吉林へ
▲鹿島敎育議員十五名八日午後三時二十五分歸京東亞ホテル投宿九日午前九時五十分發南行
▲和歌山縣師範學校生六十三名八日午前六時來京同日午前十一時三十分發南行

海外經濟

▲銀塊及爲替 倫敦銀塊 [illegible] 同遠限 [illegible] 紐育銀塊 [illegible] 米英爲替 [illegible] 米日爲替 [illegible] 米支爲替 [illegible] スチール株 [illegible] アナコンダ株 [illegible]

▲米棉 現物 六月限 八月限 十月限 十二月限 三月限 五月限 [illegible]

▲印棉 ブローチ オームラ ベンゴール [illegible]

▲上海標金 昨止 高値 安値 本寄 步値 [illegible]

▲上海日本向 第一回 第二回 第三回 [illegible]

▲上海倫敦向 [illegible]

▲上海紐育向 買値 賣値 [illegible]

▲大連金鈔票 現物 近限(先限) 寄付 步値 [illegible]

▲大連上海向 引高値 安値 出止 不申來

▲大連煙台向 [illegible]

▲阪神日米爲替 第一回 [illegible]

各地市場

▲大阪株式 大株 大新 新紡 [illegible]
▲同 短期 鐘紡 新 [illegible]
▲大連株式 大連 東新 日産 [illegible]
▲大阪三品 五品 先限 新豆 [illegible]
▲大阪棉花 當限 七月限 八月限 九月限 十月限 十一月限 先限 [illegible]
▲大阪期米 當限 先限 [illegible]
▲仁川期米 當限 中限 先限 [illegible]
▲橫濱生糸 當限 中限 先限 現物 [illegible]

▲神戶豆粕 當限 先限 [illegible]
▲大連特產 六月限 七月限 カルカッタ麻袋 鐵筋 爲替 現物 [illegible]

新京市況

[illegible]

不振の水上競技界 新しい躍進へ

滿洲水泳協會を近く組織 全滿の統制を圖る

南滿洲に於ける水泳および水上競技を健全に普及發達せしむるため、奉天体育協會の肝煎りで、近く滿洲水泳協會を設立すべく準備を進めてゐたが各地の贊成を得て近日發會に至るものと見られてゐる、同協會は南滿洲各都市に於ける主として日本人の水上競技界を代表する各團体を以て一丸とするもので、日本水上競技聯盟および神宮体育大會に對する代表を除く、南滿洲に於ける日本人水上競技界の包括的統制權を得やうとするもので所期の目的を達せんがため滿洲水上競技選手權大會を始め日本水上選手權大會、オリムピック水上競技、明治神宮体育大會の滿洲豫選會、州內外水上競技大會、中等學校水上競技大會その他を催して、兎かく內地に比して不振勝ちの水上競技をこの際大いに向上せしめやうといふにある

馬車夫から釣錢詐欺 淺ましい邦人 その場で逮捕さる

客馬車夫をあざむき四十錢を騙取したあさましい邦人の逃走中を新京署應援警官に逮捕された、……北海道留萠郡留萠原生れ三浦孝次郎(二六)は七日午後十時ごろ滿鐵病院前から客馬車四二一七號に乘車し東一條通り消防隊横手で下車した、その際馬車夫に五十錢銀貨を渡すと稱し釣錢四十錢を受取り一錢銅貨を手渡し逃走せんとしてゐるを折柄巡廻中の新京署應援の鞍山署阿部巡査が發見逮捕した

熊平洋行 忠靈塔へ百圓寄附

最新式消防自動車始め鋼鐵製特許の保管庫並に竹內金庫消火器具類を以て各地に支店を有し名をなす株式會社熊平洋行は忠靈塔建設に本社を通じ金百圓の寄附金を寄託した、同行の滿洲に於る活躍狀況は仲々目覺ましきものがある、新京日本橋通りの同支店では城內、鐵嶺屯に前記鋼鐵製保管庫作製工場を設け大使館始め海軍部、滿洲國、中銀外諸官廳に多數納入頗る好評を博してゐる、新京支店は去る七年五月の開業で今本五男氏を主任とし活躍、同店の前途益々盛業期待せられてゐる

錦心中事件の拳銃の出所判明

既報、吉野町二丁目料亭錦二號室で元關東軍法務部雇員石川政太郎(四六)は同家抱へ酌婦信子こと原艶子(二四)を射殺し自分も同樣自殺を遂げたが同事件に使用したブローニング拳銃第一〇一七八號につき新京署で捜査をなしたところ右拳銃は石川の友人奉天木曾町九番地當時日本橋通三七番地濱田醫院入院の中野三四一(三四)の所有品と判明した、石川は去る二日同院に中野を訪ひ、實は明日法務官三名とゝもにチ、ハルに出張するので拳銃が必要であると僞り、借用したものである

軍官軍需候補生 それぐ教導隊に配置

軍政部ではさる五月三日第五期軍官候補生並に第六期軍需候補生の採用試驗を行つたがこの程採用者軍官候補生百八十八名、軍需候補生五十名を決定したので來る十五日全國各教導隊にこれを配置入隊せしめることゝなつた

阿部經調幹事 歐米に留學

滿鐵經濟調査會委員兼新京在勤幹事の阿部勇氏は今回參事に昇進したが歐米列國における各本土と領土との經濟關係研究のため滿二ケ年間歐米列國及びその自治領並びに領土に留學を命ぜられた

サーの稱號と勳章 英政府津島理財局長に贈る

【東京國通】戰債賠償問題始め國際經濟舞臺に活躍して歐米諸國に「ヤング津島」の令名を馳せた現大藏省理財局長津島壽一氏は、七日午後三時英國大使館を通して英國政府より勳章を授與され、サーの稱號を賜つた、勳章はナイトコンマンダー、オヴ、ブリイテイッシュエンパイヤーで英國駐在中同國當路者と往來折衝して賠償問題に盡力した功績に對し贈られたものである

拓け行く滿洲國全貌 善隣武の宮樣を御迎へして光り輝く (一)

胄葉輝く今日、秩父御名代宮殿下を迎へ奉る滿洲國は曩に帝政を實施して東洋に於る一帝國として東隣日本帝國との敦厚なる國誼關係のもとに着々として國家建設の大目的を達成しつゝある、則ち政治的には其の基礎工作たる治安は既に保持されて地方警備事業は完成の域に進みつゝあり、更に地方行政の根本的革正に向つて其のメスは揮はれんとして居る、また經濟的にその基礎的工作たる中央銀行の創立と之に伴ふ幣制の統一の大事業は既に九〇パーセントの目的を達成し、又國內金融機關の整備、諸般產業振興の關の設置、國民生活と直接關係をもつ税制の整理並に交通の完備を目的とする鐵道、道路及航空路の開拓、水運事業の振興並に諸般郵政業務の擴張等各般の重要建設事業は目まぐるしきばかりの超速度的發展を示しつゝある

他方產業界は今や政治及び經濟上の基礎的工作の完了、進展に伴ひ帝制實施以後俄然目ざましき發展を展開せんとして居る、要するに滿洲國の現狀勢を大觀すれば建國以來國家建設二大スローガンであつた治安の確保と幣制統一の二大工作は既にこれを完了して過去のスローガンとなして建設分野からその姿を消し、滿洲帝國の國際政治進出の外交上の基礎工作たる治外法權の撤廢、內政確立の政治的基礎工作たる地方政治機構の根本革正、國勢の發展を期する產業の本格的開發等々の新しきスローガンに、その地位は讓られたのである、いま東隣の若き武の宮樣をお迎へ申した帝國滿洲國の全貌を鳥瞰するに

政治

帝政の實施によつて永久不易の國体を確立し、國礎愈々鞏固に、中央政治機關は益々完備して諸般の行政は圓滑に運用され今や行政の根幹たる人事行政制度確立の重點政策に歩武を進める一方、地方政治機構の根本的更改を圖り舊軍閥政權時代に全く顧られなかつた政治と國民の關係、即ち地方行政機關をして地方民の生活誘導の本來の使命に立返らしめ、從來の如く地方政治機關は恰も民衆の搾取機關たるかの如き弊害を完全に除去し、地方行政の面目一新のメスを揮ふべく準備が進められてゐる、又アメリカのブレントラストに比すべき機關を中央に設置し、重點政策の企畫遂行に當らしめんとしてゐる

外交

サルヴアドル共和國の滿洲國正式承認はスチムソン、ドクトリンや聯盟の不承認主義に一大破綻を生ぜしめたばかりか、郵政問題の如き國際間の實際問題に於ては聯盟參加國をして妥協主義を採るの余儀なきに至らしめた

他方貿易及び投資關係等からして承認機運は各方面に擡頭しつゝある實情勢にあり、滿洲國はやがて來らんとする國際政局の好轉に備ふべくその外交工作を治外法權の撤廢に集中してゐる、一方日本との親善關係を益々深め他方ソ聯邦及び支那との間に善隣關係を結ぶべく待機の姿勢をとつてゐる

殿下御入京を記念 十日早起大會

秩父御名代宮御入京を記念し新京敎化聯盟主催市民早起大會は十日午前五時五十分より西公園誠忠碑前で擧行されるが詳細は目下研究中である

大藏問題の輪廓把握 檢事局俄然緊張 閣議前法相中間報告せん

【東京國通】綱紀問題に關聯して目下收容中の大藏省官吏五名に對する檢事局の取調べは、大体事件關係の輪廓を把握した模樣で、七日に至り司法首腦部は俄然緊張し、岩村檢事正は林檢事總長に今日までの取調べ內容を報告し、同時に午前中小山法相に報告七日午後三時小山法相、林總長岩村檢事正が會合し前後三時間協議した、小山法相は八日の閣議前に齋藤首相に所謂中間報告を爲すものと觀られて居り注目されてゐる

喜峰口圖們に國境警察隊

滿洲國ではさる五日から青龍縣喜峰口に國境警察隊を、延吉縣圖們に國境警察隊圖們分隊を新しく設置した

校長會議簡捷のため 文教部議案を各校に送附

文教部では本月十八日同部會議室で全國各師範學校並に實業學校長會議を開催することゝなつたが、文教部からの提出議案も相當あるので當日の簡捷を期するためこの程各校に對して議案を送付し會議までに研究のうへ答申するやう通達した

江原道大暴風雨 約九百名行方不明

【京城國通】七日午前十一時警務局着電によれば六日朝以來、江原道海岸に暴風雨襲來し、午後四時頃風は漸く衰へたが、遭難漁船は百六十七隻で、乘組員は約九百名あり行方不明である

松花江蓮江口 八十名の紅槍會匪來襲

【ハルビン國通】去る五日紅槍會匪約八十名が松花江下流蓮江口に襲來滿人二名を人質として拉致身代金五千圓を要求せる外日本人を鏖殺すると豪語して居るので滿鐵國際運輸出張員八名は佳木斯に避難した

滿鐵巴里に事務所設置 初代所長に坂本參事任命

滿鐵では六月七日附で左の巴里事務所規程を制定してパリ市に事務所を設け、事務所長には鐵道部營業課巴里在勤として今度事務員から參事に昇進した坂本直道氏が任命された、巴里事務所規程

第一條 巴里に巴里事務所を置く

第二條 巴里事務所は總務部の管理に屬し次の事務を掌る

イ、會社事業の紹介宣傳に關する事項
ロ、調査に關する事項
ハ、國際鐵道會議に關する事項
ニ、特に命ぜられたる事項

六月卸賣物價指數

【東京國通】日銀發表、六月の卸賣物價指數は一七六、二で前月より四厘の低下である

根本的主張を提げ オランダ側の考慮を促さん

【東京國通】オランダ側は會商開催を急いで居り、八日の會議も先づ開會式をやつてからと言ふ譯であるが、日本側の態度、提案、說明に對しオランダ側は未だ何等の根本的對案を示して居らず、日本の諸主張も話合に上つて居らず一旦開會するといふのみで、會議の前途は未だ何等の見透しが出來た譯でない、二十日以後日本側は具体的問題に入る前に根本的主張を提げオランダ側の考慮を促す筈である

山內電々總裁現業局關係を視察

目下來京中の山內電々會社總裁は八日同社現業局關係の御用通信所、電報局、電話局、放送局、工務所、無線工務所を視察した

ハルビン神社近く建立

【ハルビン國通】ハルビン日本人密集地帶モストワヤ街に近くハルビン神社が建立される事となつた

チチハル神社地鎭祭

【チチハル國通】北滿の護神として先年來在留邦人間に要望されてゐたチチハル神社は愈よ六日實地測量を終へ、七日午後四時より建設委員長內田領事を始め日滿要人多數出席、盛大な地鎭祭を擧行した因に該チチハル神社は嫩江河畔の農事試驗所北方の眺望絶佳なる高臺に位し、敷地約六千坪で九月末日までに完成の見込みである

哈市第二女學校修學旅行

【ハルビン國通】ハルビン特別區立第二女學校生徒一行廿九名は校長孔煥書、同日本語講師高橋將武兩氏に引率され八日午前九時卅分發新京、奉天、鞍山、大連、旅順へ修學旅行の途に就いた、來る廿一日歸哈の豫定である

けふの銀相場

鈔票對金票	一三一、五五
現大洋對金票	一〇七、五二
國幣對金票	一〇六、五〇
現大洋對鈔票	九六、四〇

鐵窓に呻吟の僞勇軍々司令唐聚五 義捐金搾取、武器密輸の罪名で

かつては義勇軍司令として東邊道を擾亂した唐聚五(三六)は既報の如く義捐金搾取、兵器密輸といふ罪名で北平興安局に逮捕され目下哀れな末路を鐵窓裡に呻吟してゐる(寫眞は唐聚五)

日蘭會商準備成る

【バタビア七日發國通】日蘭會商長岡代表は七日午後零時半ランネフト氏を訪問、八日の會議順序や長岡、ランネフト兩氏の演說內容打合せをなした、八日の會議開催時間は午前十一時と決定した、會議場たるクンストコリゼン藝術協會では凡ての準備整へられ會議室は第二ホールを當て、日本代表控室は同會館の二階の一室である

極東ソ聯赤軍 大規模の演習を計畫 對日戰備着々進む

(ハルビン國通)當地露字紙の報道によれば、極東のソ聯赤軍は來る七月初旬頃相當大規模の演習を擧行する筈であると

關東長官、遞信局、滿鐵より宮殿下への獻上品 十五日滿洲館で御嘉納を願ふ

【大連國通】菱刈關東長官、遞信局、滿鐵、大連市より秩父御名代宮殿下への獻上品は次の如くで來る十五日滿洲館に於て殿下の御台覽に供した上御嘉納を御願ひする筈である

(一)長官獻上品 車距白臘喇嘛獅子、滿蒙產羊毛製絨緞、紅白紋壁織(白は亂菊模樣紅は鳳凰模樣)
(二)遞信局獻上品 記念スタンプ集
(三)滿鐵獻上品 虎の毛皮
(四)大連市獻上品 滿蒙產鐵で鍛錬せる日本刀

感激を語る人々 御側ちかく奉拜の光榮に感激 井上神官男女最高齡者謹話

秩父御名代宮殿下の御參拜を賜つた光榮の新京神社境內で殿下御歸還後井上神官及びこの日特別の思召を以つて奉拜を差許された七十歲以上の高齡者四十四名中の男女最高齡者たる川戶啓四郎翁(八十一)高橋トメさん(八十五)は何れも感激に眼をうるませながら左の如く謹話した

井上神官 殿下の當神社御參拜は今回で御二度目に亙らせられ その度に奉仕して誠に身に余る光榮と感激致して居ります、殿下の御姿を拜しますに五年前陸大生の御資格で成らせられた當時と今回と少しもお變りを拜せず益々御元氣に亙らせられ、申すだに畏き極みであります

川戶啓四郎翁 口に出して申上げるのも畏れ多い事ですが全く有難さが餘つて涙が出て參りますよと川戶老人は懷から取り出した眞白な手拭で目頭を押へる涙もろい年寄りの感激であらうが、やはり日本國民の忘れ得られない姿である

もうこんなに年を取つて了つて行末短い體ですが思ひも掛けて居らなかつたけふ殿下の御姿を拜むことが出來まして、もうこれ以上の望みは御座ゐませんと又しても溢れさうになる瞼に手拭を押當て

はるばる滿洲まで御出になられた殿下にもさぞ御不自由であらせられませう お歸りの日までは殿下の御無事を神佛に御願ひ申上げるつもりで御座ゐます

高橋トメさんは先月の末息子の鶴之助さんと共に廿數年住み馴れた青島からはるばる新京に移住して來たのであるが來る早々奉拜の光榮に浴し老の眼に涙を浮べながら「誠に有難いことで」と前置きして永生きをした甲斐がありました、今までお寫眞でばかり拜見した秩父宮樣を今眼の前で拜むことが出來、これで何も思ひ殘すことはありません

とのみ語り、あとは只感激の涙にむせぶのであつた

拜謁を賜りて 總務廳長 遠藤柳作氏謹話

殿下には畏くも 天皇陛下の御名代として滿洲國帝制實施並に皇帝登極慶祝のため御來滿あそばされ日滿兩國々交上きはめて重大なる御使命をめでたく果させ給ひましたことは我等欣喜の情にたへないところであります、然るに本日滿洲國に職を奉ずる日本人官吏に拜謁の御光榮を賜はり御婉麗はしき御尊容を拜し一同恐懼措く能はざるところであります、今後永くこの光榮と感激を肝にめいじ今後東洋平和確立のために各その職に從ひ任務を達成せんことをねがつて已まない次第であります

殿下奉迎の觀兵式に參列して 軍政部大臣 張景惠氏謹話

本日の觀兵式は日本帝國 天皇陛下の御名代たる秩父宮殿下に對する儀禮の式典である建國以來緊密な關係におかれた友邦日本國が我が滿洲帝國の實現を慶祝せんとして秩父宮殿下を御差遣あらせられたるは吾等滿洲國人として感激にたへざるところなるに更に本日は殿下と皇帝と御同列にて面目新たまれる滿洲帝國軍に御親閱を賜はり吾等將兵の感銘これに過ぎず、幸ひにして絶好の天氣に惠まれこの歷史的大儀を終了したるは日滿兩國將來の關係を暗示するものゝ如く誠に嬉ひにたへない次第である、吾等將兵は今後一層國軍の將來に邁進し併せて日滿融合、東洋平和否世界の平和に寄與せんとするものである

新版 江戸八景

(上巻上映) 行友李風氏外四氏合作 挿絵 鏡平他二氏畫

江戸役者と御殿女中

六七 行友李風

薬路は、人に氣付かれぬうちにと思ふところから、口早につゞけて。

『兄の手紙では、一日の宿下りを願うて歸りくれろとある故、今宵は歸れるかも知れぬが、事に依つては、二三日歸れぬことにならうも知れぬ。その間、そなたもこの部屋に殘つてゐるも心苦しからう。——萬事は、あの、萬に申しつけ置くゆゑ、今日は、一まづ伊豆殿方へ下がりくれるやう……』

といはれて、大吉、——それを退ける言葉もない。

『委細承知仕りました……』

と、うけて。

『お中老さまのお情のありがたさ。——いつまで、かうして、お側に居りましたとて、お名殘つきるせもございませぬが、いまは、そのやうなことも、申してをられませぬ……』

『わらはとても、一刻、半刻とて、はなれたうはなけれど、外ならぬお兄上の御病氣。——勘忍してたもれや——』

『はい——』

『また、近々に首尾して、きつと呼よせまするが、わらはのことは、必ず、必ず、忘れてたもるなや——』

鴛おうのつがひのわかれ時——情緒いとこまやかなるところへ、まゐりましたのが、針女頭お魚。

『お呼でございまするか』

『はい——』

『さ、ずつと、はいつてたも』

『ごめん下さりませ』

と、襖をあけてはいつて来たお魚を、側近く呼よせて。

『そなたをよんだは他でもない——たゞ今、[illegible]故、息あるうちに一目あひたい。と申し越たに依つては、これより直ちにお上へ願つて、宿下がりを致さねば相成らぬ——』

『まあ、それは、なんとも』

と、如才なく、いひかけるお萬をさへぎつて。

『ついては、この大吉のことぢやが、わらはの留守中、この部屋に殘つてゐるのも、心苦しいであらうから、今日は、一まづ、伊豆殿方へ下ることにいたしたのぢや——』

『は、さようで——』

『いまも申す通り、わらははこれより直ちに宿下りいたさねばならぬにより、万事はそなたに頼みをきますぞ——』

『はい。——それは、もう、わたくしめがお引きうけ申しましたからには、決して御心配ございませぬ——』

お万、——昨日、成瀬隼人正から、この長持一件の悪謔したことをいひきかされたが、それを心外に思ひすれば、どうなるかもしれぬと思ふから、おくびにも出しません。却て、いつもより、まめ／＼しい態勢をとるばかり。

『では、たのみましたぞえ』

薬路は、大吉のことは、これで一と安心と、手文庫から、切餅四つとり出して。

『大吉。——これは、昨夜の金子。——余分があれば、そなたの小遣ひに納めてをいてくれやれ』

といつて渡す。

『ありがたうございまする』

『では、また、近々に……』

『はい。——お中老さまも、折角、お大切に——』

押し入れの中の大吉と、その入口に立つた薬路。——しばしは、別れともない、目を見かはしてをりましたが、やがて、薬路は、姿をとゝのへて、出てゆきました。

土曜 六月九日 辛亥 先勝 執 女宿 (舊四月二十八日)

一白 二黒 三碧 四緑 五黄 六白 七赤 八白 九紫

- ●一白の人 計畫半ばに頓挫あらんとす始めを愼めば吉 乙と丙と申が吉
- ●二黒の人 業務次第に繁榮すれど飼犬に咬まる恐あり 壬と癸と寅が吉
- ●三碧の人 伸ひし枝葉も萎るべし根元よりの培養専一 乙と丙と寅が吉
- ●四緑の人 棹のさし樣にて小舟も自由ならず練磨肝要 丙と丁と寅が吉
- ●五黄の人 影の形に添ふ如く油斷すれば邪鬼に襲はる 辛と壬と寅が吉
- ●六白の人 急進を愼み大望を戒め定業に精勤すれば吉 丁と辛と壬が吉
- ●七赤の人 禮義と柔和を旨とし人に交り事に當れば吉 丙と壬と癸が吉
- ●八白の人 雄圖大に成るべき幸運の日普請轉宅開業吉 巳と癸と寅が吉
- ●九紫の人 諸事進まんより退守が安全他の援助を蒙る 甲と庚と壬が吉

殿様味をやる

1. まづくて喰へんぞッ!
2. 今日限り暇をやる
3. こんな支那料理が喰へるかッ!
4. 君も馘だッ
5. チェッ女房と女中と二人がゝりでこれかッ
6. お前は離縁お前には暇を出すッ
7. な、なんだと なる程〳〵 味の素かッ
8. たッ!!
9. どうじゃいわしの腕前は 料理に味の素を忘れてはいかんねワッハ……

新京日日新聞
朝刊
六月八日(金)
本紙 一部五錢 一ヶ月一円
定價 郵税 一ヶ月十五錢
廣告料金 普通一行 一円三十錢 特別 二円五十錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社 電話三二二五・三三〇〇
發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 谷啓二郎

けふ御滯京第四日 國都建設狀況御視察
御多端御席溫まる暇なき
秩父御名代宮殿下

御滯京第四日の九日は國都新京の建設狀況御視察の御豫定にあらせられる御名代宮殿下には隨員を隨へさせられ午前十時御旅館大使官邸御發、大同廣場を經て同十時七分國都建設局に成らせられる、建設局玄關先には鄭國務總理大臣遠藤總務廳長、阮建設局長、結城總務、近藤技術兩處長等御出迎へ申上げ、正門兩側には國都建設局並に文教部高等官等肅然整列奉迎申上げる、殿下には鄭總理大臣、遠藤廳長、阮局長の御先導にて二階正廳に入らせられ、鄭總理、阮局長より國都建設狀況に就ての說明を聞し召され、次で屋上に成らせられ、ローラーの響きと共に潑剌として伸び行く新京の姿を親しく御視察遊ばされ、午前十一時卅分諸員御奉送裡に御歸館遊ばされる御豫定にあらせられる

芝居と高脚踊 西公園で豫行
けふ主催者立會で

來る十二日、西公園海軍記念碑前廣場において秩父御名代宮殿下の御臨場を仰ぎ、開催される官民合同園遊會には餘興場を特設して滿洲芝居および高脚踊を台覽に供し奉ることになつてゐるが、總領事館地方事務所、市政公署では九日午後二時から西公園で會場の下檢分をなし、引續き右餘興の豫行をなすことになつたなほ高脚踊を台覽に供し奉るについては踊が踊だけに、下卑に亘らざるやうに市政公署では特に注意してゐるが榮厚中銀總裁の如きもこの點につきいろいろ心を配り、八日も橋口市政公署總務處長と〻もに、これが豫行を實地見聞し種々指示するところあつた

奉拜の光榮に浴した
荒木地方事務所長謹話

公職者團百四十八名を指揮して八日奉拜の光榮に浴した荒木新京地方事務所長は謹んで語る

薰風梢を渡り麗日若葉に輝く此の惠まれた佳き日に、宮殿下の台臨を仰ぎ、七千名の人々と共に奉拜の光榮に浴する事の出來ました事は、何とも申上げ樣のない歡ひで御座いました

壇上に立たせられた宮殿下の尊い御姿を仰ぎつ〻四千名の小國民が、赤誠をこめて齊唱せる奉迎歌を、瞑目して聞いて居りますと、感激の淚が自ら胸にこみ上げて來るのを禁じ得ませんでした、私は宮殿下の御榮光をお祈りし奉ると同時に、神の國と王者の國との永久の契り更に深からん事を切願して已まない次第です

大使主催 午餐會記念撮影
御着座(右)殿下(左)康德帝、右から殿下の右菱刈司令官、康德帝の左林權助男、その左鄭國務總理

廣袤二百平方キロ 人口百萬を目標の
=國都新京の建設は進む=

「……今ヤ審ニ國都建設日ニ殷ンニシテ帝國ノ發展極メテ速カナルヲ見ルハ寔ニ慶賀ニ耐ヘス……」去る七日國務總理晩餐會席上御名代宮殿下御答辭の一節である、一國の

=國都= は眞善美の具體的反映であつて一國文化の高低を一瞬にして批判され得べき尺度である、王道立國滿洲帝國の首都建設は如何に進展しつ〻あるか、愈々九日は建設狀況御視察の日である、試みに世界地圖を擴げ北緯四三度五五分東經一二五度五五分の地點を求めて見よう、レバイダーは首都新京を示す、そしてその橫顏は綠滴るテリハドロの街路樹トロヤナギの森の間にうづ高く積まれた煉瓦、礫石の小山と天を摩して聳立するコンクリートタワーの林立である大地を掘起すシャベルの響き地均しローラーの唸りである天を開き地を闢く國都の大建設は人口十八萬の既成都市を基礎として大同二年三月解氷期を待つて一齊に開始された果してどんな國都が出來上るか、大にしては列國環視の中に爾來力强きステップを續けて來た、今月三十日を以て五ヶ年計畫も第二年度を終るのであるが諸工事は着々として進み既に

=今日= では計畫の三分の一過程に到達してゐる、即ち南新京驛及競馬場ゴルフ場は昨年秋より既に利用され、南嶺野球場は今年夏利用の域に達した、大同廣場より西北一帶の地域は電氣、淨水 下水完備し瓦斯の設置及道路舖裝の一部分完成それより順天廣場に至る路形工事は既に完了、目下下水工事に着手しつ〻ある等々は建設狀況の健實なる躍進振りを如實に物語つてゐる、斯くして康德三年を以て完成する國都建設第一期五ヶ年計畫は國務總理管理の下に阮國都建設局長、結城總務處長以下各員は廣 約二百平方キロ人口百萬を收容し大滿洲國の樞軸をなす國都完成の日を

=唯一= の慰めとして泥に塗れ塵に埋もれ默々として國都の礎を築いて行くのである

秩父宮殿下
けふ軍狀御聽取

(關東軍司令部發表)秩父宮殿下には、九日午後關東軍幕僚より諸事情御聽取の御豫定に在らせらる

八日ヤマトホテルの 奉迎晩餐會
陪席の光榮に浴せる人々

秩父御名代宮殿下の御台臨を仰ぐ軍司令官兼大使主催の奉迎晩餐會は八日大和ホテルに於て催された この日殿下には定刻十五分前御旅館御發、午後五時菱刈大將、西尾參謀長、谷參事官の奉迎裡に大和ホテル

=玄關= に御到着遊ばされる、菱刈大將の御案內で階上の休憩室に入らせられ、林首席、他陸海軍隨員、西尾參謀長、谷參事官ら扈從申上げた、この間階下待合室にて御待ち申上ぐる今宵陪席の光榮に浴する一同は階下大食堂に入り指定の席に就きやがて五時十五分過ぎ扉靜かに開かれるや陸軍大尉禮裝の殿下には菱刈大將の先導にて御姿を現はされ、全員起立して敬禮すれば殿下には一同に御會釋を賜ひ正面の席に御着席遊ばされ、茲に日滿朝野擧げての大饗宴は開始された、今宵のこの光榮の席に列る者、滿洲國側は各參議、各部大臣、宇佐美顧問、滿鐵側林總裁以下理事五名、日本側各地方代表者、主人側より大使館員、軍側參謀長以下大佐級接伴關係者など百九十餘名である、やがてテーブルコース進みデザートコースに入るや、「君ケ代」奏樂の

=裡に= 全員起立、菱刈大將は殿下の御健康を祝し奉り一同は杯を高く擧げて乾杯申上げた、殿下には宴終つて大使の御案內で一旦小應接室に入らせられ午後七時菱刈大將、西尾參謀長、谷參事官その他日本側勅任官滿洲側特任官級入室、接待申上げて後、再び大使の御案內で玄關に出御、諸員奉送裡にホテル御發、御歸還の途に就かせられた、大陸の宵は未だ暮れやらず中央廣場に設けられたイルミネーションの「奉迎」の文字は美しい純な光を黃昏の、

=空に= 投げかけてゐた なほ菱刈大將は御旅館に伺候して御出席の御禮を言上して退下した

奉天御滯在間の 御日程

【關東軍司令部發表】秩父宮殿下奉天驛御着より奉天御滯在間の御日程次の御豫定に在らせらる

六月十三日 午後奉天驛御着 日滿官民賜謁及奉拜、奉天神社、忠靈塔、三毛部隊衛戍病院御成、軍司令官主催晩餐御成

六月十四日 午前野戰兵器廠故宮博物館御成、奉天省長主催午餐御成、午後北大營北陵御成、總領事主催晩餐御成

六月十五日 午前航空廠御成 奉天驛御發

宇垣朝鮮總督 十二、三日頃退京

【東京八日發國通】後繼內閣の候補者として各方面より重視されてゐる宇垣總督は去る卅一日入京以來連日に亘り齋藤首相を始め、關係閣僚を順次歷訪鮮米の恆久的對策、其他重要諸問題に就き意見を交換、協議を重ねてゐるが、七日午後の山本內相との會見で政府側との間の折衝を終り、八日午後大宮御所に伺候して皇太后陛下の御機嫌を奉伺し葉山よりの歸京を待ち湯淺宮相と會見、宮務に就き打合せの豫定で之を以て公務を果すので、更に私事を濟ました上他に支障なき限り十二三日頃退京、伊勢神宮、桃山御陵に參拜し鄉里岡山に墓參の爲立寄り歸鮮の豫定である

政局の大轉換は 或は廿日頃か

【東京八日發國通】黑田問題取調べは未だ豫期の進展を見ず、八日小山法相から齋藤首相に報告される內容も極めて概括的なものと觀られ、加ふるに秩父宮殿下目下御滯滿中でもあり、更に又問題の選擧法改正案も二十日樞府本會議に上程される事に政府と樞府側の意見一致を見るに至つた等の關係から政局の轉換は豫想された十二、三日頃より更におくれ二十日過ぎになるのではないかと觀られるに至つた

早急の政變は無い
山本內相政局談

【東京國通】山本內相は七日午後政局問題に就いて左の如く語つた

大隈內閣時代に大浦事件を惹起した際大隈內閣は總辭職したが、その結果は結局大命再降下になつた例もあるし、政局の將來を豫想して後繼內閣は誰になりそうだとか云々する事は餘りに早計過ぎはしないか、兎に角取調べの結果が未だどうなるか全然わからない樣な現在の狀態にあるのだから現政府が早急にどうなると云ふ樣な事は絕對にないと我輩は思つてゐる

滿鐵辭令

新京地方事務所副所長 事務員 神崎登
新京販賣事務所長 事務員 久松沼
經濟調査會委員兼新京在勤幹事 事務員 阿部勇
參事を命ず(各通)

滿洲國辭令

任興安總署屬官(委任二等) 町田稔
興安總署勸業處勤務を命ず
通河縣參事官 堤右門
休職を命ず

中銀週報

自康德元年五月二十七日、至康德元年六月二日

	圓
紙幣發行額	一〇六、〇九〇、六六四、四八
準備	五九、二七〇、八二五、九〇
保證	四六、八二八、八三八、五
鑄幣發行額	一〇、〇三五、五八八、八五

康德元年六月六日

閻錫山危篤

【南京八日發國通】太原に病氣靜養中であつた閻錫山は病勢急轉、六日危篤狀態に陷り太原市內の人心極度に動搖しつ〻ありと

林權助男は 新京の生みの親
小村侯後藤伯の思ひ出
國都新京今昔物語

秩父御名代宮殿下には、九日國都建設局屋上より親しく潑剌として拓け行く國都新京の建設狀況を御視察遊ばす御豫定にあらせられるが、扈從申上げる林首席隨員その人は三昔も以前から此新京とは淺からぬ因緣を有つてゐる

× ×

といふのは明治四十三年八月林男が駐支公使時代支那政府と交渉の結果今の新京附屬地が設定されたので林男は云はゞ新京の生みの親になる譯である、一望千里草原と畑の眞中にぽつ〻り名はかりの小邑長春が星移り月變り今や新興大滿洲帝國の國都として伸びつ〻ある姿を眼の邊りに、蓋し林男の感慨は無量のものがあらう……

× ×

感慨無量と云へば林男と共に新京附屬地設定に深い關係を有つ當時の外相小村壽太郎侯も滿鐵總裁後藤新平伯も今は共に故人だが今に傳へて兩偉人の先見の明を語るエピソード……

× ×

後藤總裁が廣大もない長春附屬地を決めた時內國の人々は「又後藤さんの大風呂敷が始まつた、居留日本人僅か數名の長春にあんな廣大な附屬地を取つて何になる」と異口同音に伯の非常識?を嘲笑したが 伯は「默つて見て居ろ、十年も經つたらこれでも狹くなるから」と一向平氣だつたとの事…其後長春は年と共に發展し國都新京となるに及んでさしもの附屬地も狹隘を告げ、遂に新に隣接地を買收、附屬地の擴張を見るに至り伯の先見は完全に實現された

× ×

田舍の領事館に斯んな廣大な敷地は不必要だとの議が起つた時、小村大臣は

廣いのはいくら廣くてもい〻、どんな事で大使館(?)でも置かなければならぬ樣な事にならぬとも限らん、其場合を思へば地所はなるだけ廣い方が良い

と言ふので半ば無理押しに領事館敷地を決めたとの事である、つひ事變前迄は長春領事館は馬鹿に敷地ばかり慾張つたものだと誰彼に蔭口を叩かれたものだが、滿洲國建國大使館開設の今日となつて見れば早速窮屈を感じ今更乍ら先人の先見に驚嘆これを久しうさせられる

偶語

御滯京中の秩父宮殿下には、けふ國都建設局に成らせられ、親しく國都建設狀況を御視察遊ばさせ給ふ▼國都建設の事業は第三年を迎へたばかりで、未だその緒に着いたばかりともいへるが、しかし日滿合作のこの大事業がシャベルの音、ローラーの響と〻もに、豫定通りずん〻進捗しつ〻あるは吾人この上ない喜ひである▼親視察の殿下にも營々として伸びゆく國都大新京の姿を親しく御覽遊ばされ、またその說明を詳しく御聽取遊ばされて定めし御滿足の御事と畏れながら拜察申上げる▼この度び殿下御成りの光榮に浴した國都建設局當事者は勿論、吾等市民また國都建設に御意を止めさせ給ふ畏き殿下の御思召を体して、一層粉骨碎身努力せなければならない▼滿鐵が首都新京の新情勢に應じ在京各機關の擴張を企劃することは必然の結果であり、寧ろその時期遲きに失する感みさへあり、吾人は思惟する▼地方事務所、鐵道事務所その他各機關いづれも現狀のま〻では許されず、唯だ從來の如く泥縄式ではなく、根本的の擴充がこの際最も必要だ▲右機關と別個に駐在理事の執行機關設置、更に滿鐵社の對外折衝に全責任を以て當り得る副總裁あたりの常駐が考慮されて來たのも當然である▲何かある度ひに總裁、副總裁が此頃のやうに頻々出かけて來なければならぬ現狀では、御老人に取つて御楽からぬ苦痛であらうとも存ずる▼そこで一層本社を新京に移せば問題はないが、それも直ちに不可能とあれば此際よくよく考ふべしだ

天氣

天氣		南の風晴一時曇
氣溫	最高	二七、八
	最低	一四、七
日出	前	三時五十六分
日入	後	七時二十分
月出	前	一時三十五分
月入	後	四時五十分
滿潮	前	
	後	
干潮	前	
	後	

秩父御名代宮の御仁慈に將兵感激

關東軍海軍部に御菓を御下賜 傷病兵にも御見舞品

【關東軍司令部發表】秩父宮殿下には關東軍將兵一同に對し御慰問の思召により御菓を下賜あらせられたり

又今次秩父宮殿下御渡滿の機に於かせられ各宮殿下より關東軍隷下傷病兵一同に對し御見舞の思召により御菓子を下賜あらせられたり

將兵一同洵に感激の至りに堪へす

なほ秩父御名代宮殿下には八日夜大和ホテルの晩餐會から御歸館後小林海軍部司令官を御旅館に召され駐滿海軍將兵一同に御紋章入の御菓を下賜あそばされた

傷病兵御慰問

小宮山衛戍病院長謹話

患者一人々々について有難いお言葉を賜はりことに匪賊討伐に際して負傷した六名（うち一名は朝鮮人李浦譯）の戰傷兵については負傷したときの戰況、匪賊の數、味方の數など詳細に亘る御下問があり従つて御豫定より二十分も多く御慰問の時間を賜はり患者は申すまでもなく、吾々一同大いに感激した次であります小官に對しても滿洲では肺尖に罹る者が多いやうであるがどういふ理由かと御下問がありましたので、氣候の關係であることを御答へ申しあげましたがかゝる點まで御思召を賜ることを拜し感泣の外はありません一同恐懼感激してをります

寫眞＝きのふ商業學校々庭に於ける一般奉拜

菱刈大將感激 齋藤訓導の熱心さに

秩父宮歡迎歌のコンダクター

秩父御名代宮殿下の八日新京商業學校々庭における一般奉拜の際在京各學校生徒兒童の御唱合申上げた秩父宮殿下御歡迎歌のコンダクターの大任を帶びて殿下の御左側の高台に上つて總指揮をやつた室町尋常高等小學校訓導齋藤勇□氏の熱と力のこもつた指揮振りは全奉拜者の目をひいたが當日御隨行申上げた關東軍司令官菱刈大將もその熱心さに感激され宮殿下御退場直後吉澤總領事をお呼ひになり

あのコンダクターは何處の何といふ者か誠心こめてタクトを振つてゐるのが一々動作に現れてゐる、余はあの態度を見ながら歡迎歌を聽いてゐたが非常に感激した、その旨よく傳へてくれ

ご苦勞であつたと

齋藤氏が大任を果して上原學校長及び總指揮者山內少佐に報告してゐるところへ吉澤總領事が出て來て右の旨を同氏に傳達した、齋藤氏を平安町三丁目滿鐵社宅第十七號ノ三に訪へば入浴を濟まし次女の光子さんを膝に乘せて一家打揃つて無上の光榮と大任を無事果した喜ひを語つてゐた處であつた、同氏は、歡喜と感激のうちに

一生末代の光榮と存じてゐました大任も皆さま方のお蔭で滯りなく終へさして頂きました、有難ふご座いました、又思ひがけなくも司令官閣下からはお賞めの言葉まで頂きましてこの上ないことゝ存じております…………あの時は全員のすがたはハッキリ見えますがタクトの振り方や、意識は全々わかりません、無我の境です、台を降りて初めてホッつて敬禮して殿下に向大きな溜息をついて我にかへりました

なほ同氏は大正七年三月滋賀師範學校出身、昌圖尋常高等小學校から室町尋常高等小學校に轉任現在尋常五年の擔任、この前閑院宮殿下が長春にお成りの時室町校庭で歡迎歌を奉唱した時もコンダクターになつた

國際情報殺人事件

主犯園川 吉林で逮捕 兇行後四十日近く新京に押送

去る四月二十九日午前十時市內東三條通五十八番地國際情報新京支社高辻利宗方社員大林榮一（二六）氏が病臥中を奇貨とし同人の舊友當時大綱路滿人旅館大昌賓止宿園川豐喜（二五）同上伊藤俊男（二五）同上水島林作（四三）の三名が襲ひ、ビール瓶で頭部を强打した末園川の革帶で絞殺した慘虐事件があつたが、屆出と同時に新京署並に同總領事館署員大活動で前記伊藤永島の兩名を逮捕したが主犯である園川は巧みに警戒線を突破し、以來杳として逮捕するにいたらなかつたところ四十日目の七日午後九時吉林城內牛馬行の滿人旅館に立廻つたところを惡運盡き吉林總領事館署佐藤刑事に逮捕された旨新京總領事館に通知があつた犯人の身柄は近く新京署に押送することになつた、

逃走の經路

主犯園川豐喜は兇行後伊通縣に飛び、更に徒歩で朝陽鎭に潜入し續いて吉林に逃れたものである

森岡天涯氏 講演に來京

更生日本の先驅者として總を乘て人の爲に奉仕することを生命として現代稀に見る熱心家である森岡天涯氏は八日午後四時三十分奉天より來京二日間ばかり滯在のうへ講演を行ひハルビンへ向け出發の豫定である

滿電バスが新車增配

過般來增車計畫中であつた滿電自動車部は原口支店長始め西澤自動車部主任の努力酬ひられ此程新車十五台の增配決定し郊外用としてインター十七人乘五台、市內用シボレー二十五人乘り十台增配で一躍從來に倍加し市民に遺憾なきサービスを爲す事となつた、既にスマートな新車は寬城子線に南嶺線に好評を博してゐる過般市內バス五錢均一に、値下斷行に次ぎ今回新車增置は相當の努力仲々の奉仕であり、バスの徹底振りを見せてゐる新線としては鐵道北より大同廣場を經て新發屯に至る大同線二線路を開始、郊外への便を計りつゝあり尙滿電としては此際バス非難を一掃し更に從業員の訓練、サービスの向上、設備改良等益々一意邁進する由で滿電自動車部の活躍は大に期待せられてゐる

優良花卉を 十一日午前中社會係で無料配布

新京地方事務所社會係ではさきに花卉春蒔種子を無料で市民に頒布したがその發芽不良の者や種子配布洩れの者に對して特に優良花卉を一人三種類九本以內で十一日（月曜）午前中社會係で無償で配布するので、希望者は社會係に行くこと、花卉は三十種、二千本限り、なほこれは野村社會主事が庭園に播種したものである

新京消防隊 繼梯子自動車購入を本社に申請

首都の發展にともなひ新京消防隊では既報の如く衛生係と分離し人員の增加その他消防器具の充實を圖りつゝあるが今回更に高層建築物の火災防止器具として絕對的に必要である繼梯子自動車を購入すべく目下本社に申請中である同繼梯子自動車は高さ九十五尺の五段繼となつてゐる同自動車はマニラス式で購入費は七萬五千圓である

三十年前の長春は 邦人僅に六人

＝下德氏の懷舊談＝

大陸の一寒村から新興滿洲國の首都として、世界の檜舞台に乘出した新京は今盟邦日本の御昌弟をお迎へして感激にどよめいてゐるが、三十年前此の地に移り住んでその長い年月の間幾多の變遷を顧み今更ながら急激な進展に感激を深くしてゐる人の一人に在郷軍人聯合分會副會長下德直助氏（五一）がある、東二條通りの御宅に訪へば過日届いたばかりだと言ふ弓道教士免許證の額を背に思ひ出を語る

◇

今から三十年前私が長春に來た頃は、未だ日本人は僅かに六人しか住んでゐなかつた其の頃滿鐵線は孟家屯が最終端でそこには幾らかの邦人が住んでゐたが、寬城子には馬車で通つたものです、明治三十九年の冬鐵道が今の飛行場附近まで延ばされ西寬城子驛が出來た、そこで長春城北門から十町離れた頭道溝の地域元蒙古王郭爾羅斯王の旗下であつたのを百五十二萬坪、ルーブルでロシアから讓り受けこゝに初めて今の長春驛を設けた、そして四十年十一月三日明治天皇の天長節當日より始めて貨物を取扱ひ十二月一日から旅客を運ぶことになつた、それが長春驛の初まりですそれ以來孤家屯在住の邦人は長春に次第に移り住み四十一年には宿屋や運送屋が出來その夏までには約四百戸の家が出來た

ところが運の惡いことには四十四年一月一日に列車內に惡性のペストが發生し支那人に蔓延し猖獗を極めたので防禦の一策として新三不管にバラック建の防疫所を設け旅客を一週間隔離するに至つたが何等衛生設備も行屆かず手の下し樣がなくペストで斃れる者が多、時には一日七八百人を出し東門外には二三千の屍体か山と積まれ實に悽慘を極めたそこで先づ市街の周圍に柵を設け出入者を監視し患者發生の家屋は燒き拂つて了つた

然し此の時私が痛切に感じたのはこんな一大事の場合は個人の力では到底駄目だ、どうしても團体の力に依らねばならないと思つて在郷軍人團の必要に迫られ、四十四年四月三日在郷軍人團發會式を室町小學校に擧行し當時八十七名の人が參列した、それ以來長春は次第に發達し人口も膨張するので一旦緩急の場合在郷軍人が中心となつて義勇團を組織することになつた

此の義勇團の活躍たるや實に目覺しいもので大正四年の日支交涉事件、大正八年七月十九日の寬城子事件、大正十四年の郭松齡の謀反、昭和三年の支那南北兵亂昭和六年の滿洲事變五度義勇團が組織され居留民の生命財産の保護に一致協力働いた

大正七、八年の好景氣時分には滿洲の人は何をやつても儲かつた、ところがまた大正十二年の世界的不況の襲來で大きな商店がバタバタと倒れて行つたが、我々は滿洲の地に日本人の樂土を建設せんと互ひにはげまし合ひ斷然踏み止まつた、然しその頃東北軍閥の壓迫は猛烈で眞に陰慘な空氣が漲つた、昭和三年支那南北事變以後は事毎に日本の既得權益を蹂躙し、昭和六年四月には萬寶山事件が勃發し五月には支那人の野菜不賣同盟が起り七月には城內憲兵隊の某軍曹が斃れる等、日支人間の空氣は極度に惡化したゝめ城內居住日本人の子供は安心して附屬地の學校へ通へない

又附屬地の者も單獨で城內には入れなかつたが、遂に滿洲事變の勃發となり、惡軍閥を驅逐し、現在の王道樂土が建設され當時の數倍の地域に日本人の自由な生活が營まれる樣になり、當時六人の日本人が居ました頃を思ふと實に感慨無量です、日滿相提携して眞に王道樂土が出來、此度は秩父宮殿下の御來京を仰ぎ感激に浸つて居る次第です

◇

下德氏は現在新京在郷軍人聯合分會副會長として活躍し、一昨年七月軍事功勞賞を授與され又八年には在郷軍人としては最高の名譽たる有功章を拜受した勤儉力行の人である

吉林娘々祭への旅客に運賃割引

吉林北山娘々祭行き旅客に對して鐵路總局では新京、吉林間三等往復に限り左記により運賃の割引をする

▲個人新京吉林往復國幣三塊三毛北山まで三塊六毛（普通料金の三割引）

▲團体、五人以上の團体では一人新京吉林間往復國幣二塊四毛（普通料金の五割引）小供は半額

▲臨時列車は八日から十日まで三日間新京發午前七時三十二分、吉林着午前十時三十二分

本田參事官 難を免る

【吉林國通】奉天省境輝南縣小磐石嶺附近において三日共匪に襲はれ行衛不明を傳へられた濛江縣本田參事官及び大杉、藤原兩指導官の消息について省公署警務廳では百方手配調査中であるが未だ確實な情報に接しない、然し乍ら七日までの各種情報を綜合するに本田參事官は難を免れ、遭難したるは指導官三名（大石橋指導官を加へて）なるものゝ如く、引續き極力調査の歩を進めて居る

速記術の教授 十五日開始と決定

資金を得る畫展も近く開催

最近速記術は座談會に或は議會に使用され重寶がられてゐるが從來新京には速記習得の機關がなく、各方面よりこれが設置の要望が叫ばれてゐたところ、大連に本部を有する大連速記研究會が今回吉野町一丁目吉野館に假事務所を置き、事務及び教授を十五日より開始することゝなつた、責任教師及び監督は生稻寅松氏（元滿鐵速記主任）で、速記支部設置に伴ふ資金を得るため近く地方事務所後援の下に滿洲風景色畫展覽會を開催する筈であるが、出品物は氏の餘技になる百餘點で好評を博するものと期待されてゐる

北滿の外商 日本との提携に轉向

ソ聯勢力漸次凋落

【ハルビン國通】多年ソ聯各機關と密接な連絡をとり北滿財界に暗躍して來た外商通は最近俄に轉向し、日滿經濟機關と提携する大勢に轉じて來た、即ちハルビンに於ける砂糖業者たるツイクマン商會は大日本製糖と合資組織により九日北鐵東部線阿什河工場で日章旗掲揚式を盛大に擧行する事となり斯くて北滿に於けるソ聯の勢力は漸次影を沒する大勢にある

新國家承認は主權國家天賦の大權

サ國代表聯盟の抗議を一蹴

【ジュネーヴ七日發國通】サルバドル共和國政府の滿洲國承認に關聯し聯盟事務總長ジヨセフ、アブノール氏はサルバドル代表ハー、パルデス博士の出頭を要請し、說明を求めたが、同代表は新國家の承認は主權國家の天賦不磨の大權なる旨言明し、事務總長の抗議を一蹴した

デ盃日濠シングルス試合 山岸、藤倉共に敗る

【イーストボーン七日發國通】デ盃庭球戰日本對濠洲の試合は愈々七日午後二時四十九分より開始されたが、在留邦人多數詰めかけ應援に氣勢を添へた、松平大使も令孃同伴でコート觀覽席に姿を現はし選手を激勵した

日本選手は此の日故佐藤選手に哀悼の意を表するため、ブレザーコートに喪章をつけて出場したのは特に注目をひいた

先づ試合はマックグラスのサーヴによつて開始され第一ゲームは山岸のフオアハンドの虚を衝きマックグラスのものとなる、然し山岸は少しもあせらずあく迄冷靜なプレー振りを示し主にベースラインから猛烈に打込むので流石のマックグラスもコートの隅から隅を驅けずり廻る有樣で、山岸は水際立つたスマッシングで美事にポイントを極め第一セットを奪つた

然し乍ら第二セットに入りマックグラス好調を取り戾しマックグラスは得意の兩手を使つて猛烈なショットを送り遂に接戰の後山岸敗る

次いで藤倉、クロフオードの試合はクロフオード始めから物凄い當りを見せ左右コーナーに思ふが儘に打込み藤倉をしてネットに出る隙を與へず藤倉は老巧クロフオードのスピードのあるストロークと正確なプレッシングショットを通された、藤倉は第三セットに入り最後の奮鬪すさまじく玉碎的戰法に出でこれが奏效し遂に六對五と始めてリードしたがシーソーゲームの後十一對九で善戰及ばず敗れた

米西海岸罷業 遂に東海岸へも飛火

【ニューヨーク七日發國通】米國太平洋岸の埠頭人夫罷業は其後益々重大化し西海岸諸港の海運業は全く休止狀態に陷つて居るが、更に罷業は東海岸にも飛火しニューヨークを始め東部海岸諸港一千名の埠頭人夫は七日俄然太平洋埠頭人夫に對し同情罷業を決行するに至つた

吉林攪亂を企つる兩頭目を逮捕

警務廳密偵のお手柄

【吉林國通】六日夜、省警務廳密偵が商埠怡春里聚賢館煙館に於て擧動不審の二滿人を發見、直ちに附近警察分局員を狩り集めて聚賢館を包圍の上拳銃を擬して逃走せんとする件の二滿人を逮捕、嚴重訊問の結果、兇暴な或種の目的の下に吉林に潜入した元殿臣系の匪賊の小頭目奉天省生れ鄭雨新（二九）及び守廉（三二）と自白したので尙嚴重取調中

教導團の精鋭出動

【吉林國通】教導團の精鋭〇〇名は〇〇〇方面共匪追擊の爲七日〇〇〇より勇躍出動したが、全軍の志氣旺盛直ちに〇〇より追擊を開始した

居住消息

▲藤原卓夫氏（島根縣）敷島寮百二號へ
▲木村義岳氏（熊本縣）敷島通り一號ノ二矢島方へ
▲橋本欣藏氏（神奈川縣）永樂町三丁目五番地末永方へ
▲難波市郎氏（神奈川縣）大連から東二條通り二丁目六十二番地赤星方へ

轉居

▲坂岡軍喜氏敷島寮から花園町二丁目十二番地ノ三へ
▲岡村齊氏露月二丁目三十八號から露月町三丁目第五十六號ノ一へ
▲中島勝藏氏八島通り一號から常盤町二丁目十五號ノ八
▲赤星太郎氏東二條通り五十八番地から東二條通り六十二番地へ

柳川次官令孃死去

【東京國通】柳川陸軍次官令孃愛子さん（七ツ）は疫痢で七日夜死去した

協鑑を語る（六）

わが第二國民のエルム巡り
西廣場小學校の巻

遇感

西廣場小學校　瀬川校長

鉛筆を折らして困つてをる學友を見て隣りの席の子供が默つて削つてやつた、二人はニッコリ笑つただけで學習が澁滯なく續けられて行く、尋常二年六十名の級友達は自分のクラスでこんな事件があつたなど勿論知るはずがない、些細な事であるが美しい、默つて頭でも撫でて上げたい氣分になる

此の間尋常五年の女の子供達が裁縫室のお掃除をすませてから序にミシンの「被ひを」洗濯して歸つて行つた、平凡な事であるが嬉しく思つた

平凡と云へば私達日常の生活は案外平凡の連續の樣に思ふ一生を通じて「忠孝兩全を奈如にせん」といふ樣な人倫の十字路に行き惑ふ事件はさう澤山あるものでない、其れこそ一生に一度あるか無いかの非常時に於てのみだ、先月でしたか奉天醫大日名先生の、「孝道論」をきいた

「孝は長者に對する眞心に發する」

手近な方面としては

『お父さんお早ふ御座います』といふ態度であるといふ樣な話でした、誰れでも分り切つてをる平凡な事である、處が此の平凡事がどの程度に實行出來るだらうか、自分の家庭を省みて氣恥しい思ひで聞いた

「父と起居を共にして毎日同じ事をくりかへしただけで取り上げてかういふ事があつたなどと思ひ出す樣な話は一つもありません、父は話の種になるやうな奇拔な事も云へないしまた一つ話に殘る樣な事も致しませんでした」＝東郷實中佐の父元帥に對する偲出が新聞に出てゐた、偉人にも常人にも「道近きに在り」の感がする

日本の「非常時」が二年や三年で解消するとは素人觀でも考へられぬ、國家が積極的發展の途にある場合止むを得ぬ、滿洲國で育ち將來の生活を滿洲にかける今の在滿の兒童達提携共榮の中にも尙多難を豫想される國家的環境に立つて奮闘せねばならぬ人格への基礎的教養、身体の上からも精神の上からも在滿兒童教育には反省努力の部面が多い

「道近きに在り」近易にして平凡の道の一貫徹底を兒童教養の上に需むる事こそやがては高樓を仰ぐための「爾の脚下を固うする」意義に合するのではなからうか、こんな心持ちで私共日々の仕事に當つてをります

（新京日々から「教育の方針は」とお尋ね下さつたに對し之れも頗る平凡で隨感的なお答へですがお許し願ひます）

先生のこの遇感に全ては盡きてゐる、瀬川校長は三重縣の出身、三重師範を卒業後撫順、開原、昌圖に長年教鞭をとられて後昭和六年四月本校々長に赴任された方で文字通り愛の教育者である、子供を健かに伸ばそうと念願する先生の心が兒童の胸を掠める小さい陰影に觸れて慈愛の教育がそこに生れ兒童はすくすくと育つて行く、なほ同校は大正十四年十一月十六日開校式を擧げこの春第七回卒業生を送つた兒童數三十學級約千六百二〇名職員三十三名である（寫眞は創立當時の西廣場校）

隨筆「みよし町」

絹洲千樹

この三次には度々來るので略町の形は解つてゐるが……少さな町では有るが仲々騒々しい車馬や人通りの頻繁な忙しい町である、町と町との間には大きな川がある

馬洗川と西條川で丁度二つの流れが落ち合つてゐる所が松原公園で向ふ岸は辨天樣の少さな森がある

二つの流れが合して大きな川となつてゐるが之が即ち日本海に注いでゐる所謂江の川だ

ズッとしもの方に下つて尾關山の下を流れてゐる

この三次は町は少さいが山水にめぐまれてゐる景色の良い山脈の麓町である

この尾關山は春は櫻が山一杯に咲き揃つて滿開の頃は少さな山に櫻花が溢れ出そうになるその下の河を屋形舟が静かにくだる

河に面して新しく出來た觀翠樓と言ふ御殿のやうな大きな仕出し屋がある

櫻が散つて了ふとツツジが咲き初める

秋は日熊山から見るこゝの町の名物霧の海がまた絶景である

伯父の家は町で雜貨卸商をしてゐるが旭町に別莊があるので私が行くと必らずそこの方へ連れて行つて吳れる、もつとも四年前から店は若い者に任せて伯父と伯母とは隱居の身である、孫を連れてズッと別莊の方に寝起してゐる

夏の夜明は早過ぎてもう四時には明るくなつてゐる、家の直ぐ裏が西條川になつてゐるので孫と二人で川に行く

川もやが丁度別府の海地獄のやうにモクモクと立上つてゐる、川水はナマぬるい程溫度がある

ヒザまで水に入つて頭から水をかぶつて面を洗ふと一度に氣持が良くなる

その日は七夕祭で町々の子供は晝から水につかつて舟や陸で遊んでゐる、この日は町中の子供は言ふまでもなく大人も皆水につかつて一日を樂しく遊ぶそうして夜は舟々に灯を點して夜更になるまで騒いでゐる

翌朝は早く起きて女は髮を洗て店の子憎ッ子は字が上手になるやうにと筆とスズリを川で洗ふ子供は父親と今年も元氣で病氣をしないやうにと短册に種々の字を書いた竹の笹を舟から流す、これで二日に渡る七夕祭は終る

三次の川はどこも大變遊ぶのに良い川幅は約一町位有るが水の流れてゐる所はほんの二十間位である

夏の夕物のもう一は何と言つても鵜舟が見物だ三次の町は鮎が名物の一つだから豪勢だ

二年程前に學校の先生が夏休みに一緒に行つて見ると言ふので連れて行つて見せてやると實に感嘆の言葉を知らなかつた程である

辨天樣の森の裏で尾關山の下の河で——各所で鵜舟は使はれる

夕方など夕食を濟ませて別莊から川を見てゐると色巷だけに三味の音が流れて來る唄が聞える

やがて鵜舟が靜かに舟首にカガリ灯を點して流れて行く、ガリ灯の光りで鵜が舟べりに行儀良く列んでゐるのがボンヤリと見える

時々變な聲でなく、今はその鳴き聲を忘れたが……何でもやさしい聲ではなくしぼれるやうな苦しいやうな鳴き聲を出す

（九、三、三〇思出すまゝ）

海の外から

ダコタの丘上に
ワシントンの石像

米國では予て米國民の一大記念事業の一つ……ジョージ、ワシントンの天然石記念像を建設すべく南ダコタの黒石丘に此の程、着工したが高さ五十呎もある大物なので仕上げは今秋の豫定である、尙目下の所は顔面が半分出來上つてゐる

時事展望

上村生

□ついでに只つ當りしよう、滿洲國が形成された、せゝこましい內地を後に日本の青年達が、どしどし滿洲に押しかけて來る、多くの先輩が口を揃へて云ふ、どうも困る、何の目的も無しに、無鐵砲に渡滿して、猥られては……と

血に燃える若き青年が、石橋を、叩いて通る樣な老成した氣持があつて、たまるものか

無鐵砲な處に青年の値があるのだ、それを手を取つて、指導し、何でも良い、滿洲の地に親しましめるのが、日本の國策であり、先輩の義務であり大和民族の責任だ

□全滿洲特に鐵道沿線の便利で生命財產共に、安全の期せられる地は、匪賊の子孫の馬の骨共が、ことごとく蔓ひこつて、我かもの顏に耕作し、わがもの顏に商業を營み、表面從順を裝ふて、赤い舌を出しながら巨利を占めて居る、次ぎに國都建設の、土工でも全部〇〇人を使用してゐる、何故に、能率の上る內地の土工を使はぬのか、少し賃金が高くても不景氣に苦しんで居る內地人を使用すべきだ、國策の爲めにある滿鐵であるならば、解氷期に無賃で內地の土工を運び、結氷期に、無賃で內地に送り屆ける、こんな事も、國策の一端でなされねばならぬ筈だ、一体滿洲では內地人は、お役人でなければ手も足も出ぬ政策の樣に見受けらる、道路も住宅も皆そうだ、血に燃ゆる青年が、志を立てて渡滿しても、何等の指導機關が無く宿るに家なく天を睨んで、父祖の血を流した大地に、涙を揮つてすごすごと內地に引き返す、それを偉いお役人や、成功して居るお先輩達は、無鐵砲の自業自得だとウソブイて御座る、然して滿洲の天地で、やがて蔓るものは現在のお役人のお坊ちやま方と、匪賊の子孫であらふ

ラヂオ欄

世界初の 球型瓦斯タンク現る

瓦斯タンクは從來、先づ圓筒形のものと定つてゐたが、今度ベルギーのオステンド市瓦斯工場には、フート、ボール式、世界初の圓いタンクが出現、直經廿呎の球型なので目ド見物人の山を築いてゐる

巨船ルシタニアの今夏引上作業

一九一五年五月七日獨乙潜水艦の水雷の一撃で沈沒した米國の巨艦ルシタニア號は今夏同國潜水作業の權威ペーレー大尉を主班とする一隊によつて引き上げることになつた

九日（土曜）新京

午前六時〇分　ラヂオ体操（東京より）
同　八時　五分　經濟市況（東京より）
同　十時三〇分　ニュース（日語）
同　十時四〇分　經濟市況（東京より）
同　十時五九分　時報
レコード（滿語）
同　十一時三〇分　ニュース（滿語）
同　十一時四〇分　ニュース（東京より）
經濟市況
午後　〇時五分　經濟市況（奉天より日滿兩語）
同　〇時三〇分　演藝（滿語）
同　一時　〇分　演藝　連舌班　彩鳳（滿語）
同　一時三〇分　講座　監察院審計官　張寶　日本の現狀に就て（四）
同　二時五〇分　經濟市況　ニュース（東京ヨリ）
同　三時二〇分　ニュース（日滿兩語）
同　三時三〇分　經濟市況（奉天ヨリ日滿兩語）
同　四時三〇分　ニュース（滿語）
同　四時四〇分　ニュース（鮮語）
同　四時五〇分　ニュース（英語）
同　五時　〇分　子供の時間　新京室町小學校生徒
一、齊唱　奉迎歌　五年女生徒二十余名
二、齊唱　イ春風　ロ娘々祭　ホロホロ　三年女生徒廿一名
三、獨唱　國旗　四年生　勝津直子
四、合唱　振れや國旗　五六年女生徒四十名
五、劇　北滿の花吹雪　五年男生徒十名
同　五時三〇分　秩父宮殿下御動靜關係ニュース（日滿兩語）
同　五時五五分　番組豫告　氣象豫報（滿語）
同　六時　〇分　ニュース（東京より）
同　六時二〇分　滿語講座　講師　高宮盛逸
同　六時四〇分　日語講座　同　植松金枝
同　七時〇分　獨唱と管絃樂（東京より）　新交響樂團練習所より中繼　獨唱佐藤美子　日本放送交響樂團　指揮ニコライ、シフェルブラット
同　七時三五分　長唄（東京より）
同　八時三〇分　時報　ニュース（東京より）
同　八時四五分　ニュース　氣象予報、番組予告
同　九時　〇分　演藝（滿語）　艶春院　金環
同　引續きニュース（滿語）
八時　〇分　時事解説（東京より）　法學博士　松田道一

追信　六月八日箏曲は種目を變更し內容左の通り
地唄と箏曲
一、地唄浮舟　米川文子
二、箏曲　八役の調　替手　米川澄子　本手　士屋　同　條田夏子

ラヂオの御用は東京無線　電四九二〇番へ

日本の聖女

生田葵　(上映上演)　南部龍平畫

二二五　非人の取調（五）

兇賊の兒は貰つた三百文の錢を役人の手に取上られて了つたので恨めしげに錢を目蔭り勝ちに父親やびつこ松を一諸に引立てられて白洲の木戸口から外へ消えていつた。

『直ぐお手配になるでしやう』

岸田は座したまゝ、顔からとしない神山の顔色をうかがつた。

『うむ。だが伴天連お常がいきかへつたと言ふのは眞、だらうか私にはそれが合點が行かない』

『やはり切支丹の魔術でそんなことが出來るのかもしれません』

『それだとすると捕手の者には汗潤にそんなことを聞かされない此間の伏見街道裏でお粂を取逃がし時にも、短銃で二人迄も生命を取りし時があて、取手仲間では切支丹一味召しとりには大分しりごみしてゐるらしいのに、又た々そんな奇蹟を見せるお常が一緒なぞと云へば、御用の際を口々に呼ばりはしても、お常やお粂の居る巣窟の中へ飛び込んでいくものはなからう』

神山は困り入つた顔付きになつてゐた。

『巣窟であれば一方口に違ひありません、捕手を飛込ますにしても御退治と同じやうに先づもつて燻いぶしを懸けたがよろしいと思ひます。煙にむせてヒヨロヽになつて、出て來るところを召し捕れば、味方に手負けも出來ずにすみませう』

岸田は智者振つて[illegible]した。

『拙者も今それを考へてゐた所ぢや。それより外に方法はなからう長評議で徒らに時刻を過ごしてゐては取逃がす恐れがある。では早速手配して、捕方三十人程、叶の役所へ集めてくれ、拙者直々に出向くことにする』

『承知しました。都合によつては兇賊か跛松を牢獄からもう一度引出して、案内者にするのがよいと思ひます』

岸田はさう云つて神山の前を退くと、そこの役所附きの捕方を總動員してそれから使ひを六角の役所へ走らして加勢を頼んだ。

萬事の手筈は一刻も經たない中に調ひいよく役所から繰出すことゝなつた。

巣窟の案内者は兇賊でも跛松でもなく、兇賊の小兒を選んだ。

一時に役所の門を出ては町人を驚かすので、三組に別れ、一手は岸田が率ゐ、もう一手は加勢にはせつけた宇和島直が指し圖役となつた。

神山庫之進が總指揮者となつた三組に區別された捕手が、鳥羽野へ潜し、打ち合せのしてあつた寄地の小徑の大松の下に集合したのは、八つ刻（午後二時）以前であつた。

兇賊の兒は貰つた錢を滿足さうに抱へて神山や岸田に巣窟の外廓や出入口の穴の模樣や、内部の容子などを問はるゝまゝにうやくしく語つた。

それでとりての方針をほゞ立てることが出來た。

眞先に宇和島の率ゐるとり手が進むことになつた。

之れは巣窟の入口を通り過ぎて、とり手をまゐるのである、正面のせめ手は、岸田の組で、巣窟の入口へ、這ひ寄つて行き、持参して來た松葉束を投込んで、内部からのがれ出られぬやうにするばかりか火を放つて燻攻めの兵略を行ふのである。

然うして神山自身が引卒するとり手は、巣窟から鳥羽野の草地へ逃げる道をまもることにした。

—×—×—×—